組合ニュース

第　１　５　１　５　５　号
２０１７年１１月８日(水)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　Ｈ　Ｐ　http://nssmwu.jp/

第３回中央委員会報告

【日時】10 月 30 日（月）
17 時 15 分～19 時 00 分
【出欠】出席 86 名、欠席 7 名　出席率 92%
【議長】田廣氏

Ⅰ　報告事項

1. 上部団体会議報告
   ・第 3 回中央執行委員会
   ・中央労使協議報告
2. 箇所労使協議報告
   ・今次衆議院議員選挙に係る会社施設内における活動に関する取扱いについての確認文書および同細部取扱いについて
   ・エリア技能職社員の海外業務支援について
   ・和歌山製鐵所における「仕事と生活の調和の取れた働き方（ワーク・ライフ・バランス）」について
   ・11 月度生産計画について
3. 新日鐵住金健康保険組合
   第 16 回理事会・第 15 回組合会報告
4. 政策実現対策委員会報告
   ・「第 48 回衆議院議員総選挙」における候補者の推薦について
   ・「第 48 回衆議院議員総選挙」結果について
   ・「紀の川市長選挙」の推薦について
5. 和歌山労組第 51 期
   第 1 回政治活動委員会報告
6. 和歌山労組第 51 期
   第 1 回組織機構・財政検討委員会報告
7. 「年末助け合いカンパ」の実施について
8. 全労済割戻金の支払いについて
9. 「U・遊シアター」の開催について
10. 11 月度日程について

Ⅱ　審議事項

1. 組合規程の一部改正に関する件（案）

◇中央委員会の議事を一部紹介します◇

◆和歌山製鐵所における「仕事と生活の調和の取れた働き方（ワーク・ライフ・バランス）」について

（会　社）

1. 2017 年度上期における実労働時間の削減に向けた取り組みについて

まず、2017 年度上期の生産状況は、対前期で出銑量・粗鋼量共にほぼ横ばい、鋼材生産量は約 7%の減少となった。このような中、突発的な操業・設備トラブルや長期間の大修繕対応、安全の全社横展開業務、標準化対応業務等により、対前期で所定外労働時間は増加となった。

ただし、こうした中でも、鋼管部においては、工場毎に余力の幅に差があったことから、小径製管工場・小径製品工場から要員状況が逼迫する見込みである冷間製管工場へ工場間応援を実施する等、所定外労働時間の削減に向けた定例の取り組みを確実に実行してきたところである。更に、代休の取得促進を継続的に働き掛けたことも、所定外労働時間削減に一定の結果をもたらしたと評価しているところである。

加えて、新たな取り組みとして、「働き方改革」を推進していく。スタッフ社員に対しては、毎月 10 日・20 日に労働時間実績を各部に連絡することで、その実績を踏まえた月内の勤務管理マネジメントを徹底していく。これにより、社員一人ひとりが自律的に時間管理・生産性向上を意識することとなり、その結果、所定外労働時間の削減につなげていきたい。また、各部毎にて所定外労働時間削減の自主取り組みも進めており、ノー残業ｄａｙや帰宅予定時間の設定等を実施している。続いて、技能職社員に対しては、「仕事の質向上」を目的に時間外発生実態の把握を徹底し、それに

より恒常的な課題を抽出することで改善策を検討・実行する「労働時間管理」に新たに取り組んでいくこととした。実取り組みは、下期からとなるが、本取り組みを通し、不要な所定外労働時間を無くし、仕事の質向上を目指していくこととする。

次に、年休取得実績についてであるが、2017 年度上期実績は、対前期で 0.1 日増加、対前年同期で 0．9 日増加の 7．0 日となった。これは、年休取得年間 10 日以上という目標を十分に達成出来るレベルであり、昨年度と比較し増加傾向であることからも、年休を取得しやすい風土が当所に根付きつつあると評価しているところである。一方で、約 25%の従業員が、年休取得年間 10 日ラインである半期 5 日取得が未達であったことから、各個人ごとに年休取得の働き掛けを丁寧に行うと共に取得出来ない理由がある場合についてはその改善に向け取り組んでいくこととする。

2．2017 年度下期におけるワーク・ライフ・バランスの促進について

当所としては、新規設備の立ち上げや品質・デリバリーに絡む需要家対応、その他操業・設備上の突発的なトラブル、修繕対応等には、これまで同様、所定外労働等での対応をお願いせざるを得ないと認識しているものの、2017 年度下期においても、これまで取り組んできた工場間応援や代休取得促進等、所定外労働時間の削減に向けた取り組みを確実に実施していくこととする。また、操業設備習熟研修等を通して、操業・設備部門の連携強化を図り、安定操業を志向することで、トラブル起因での時間外労働を削減していく。加えて、「働き方改革」の取り組みとして、スタッフ社員に対しては、上述の取り組みを継続して実施していくこととし、技能職社員に対しては、上述した通り、労働時間管理の取り組みを下期から本格的に実施していく。尚、時間外発生実態のより詳細な把握が本取り組みのスタートであることから、この下期では時間外発生実態の把握および課題の抽出に取り組んでいきたい。

次に年休取得促進についてであるが、年休取得年間 10 日以上という目標を十分に達成出来る上期のレベルを維持するべく、各職制に年休を取得しやすい雰囲気作りや業務配慮等に取り組むよう働き掛けを行うと共に、上期において年休 5 日を取得出来ていない約 25%の従業員に対しては、個別事情を考慮しつつ取得促進を働き掛けていく。また、年休取得ニーズの高い年末年始での操業上の工夫等による年休取得の促進や交替勤務者への年休奨励についても継続して取り組んでいくこととする。

（組　合）

1．実労働時間の削減に向けた取組みについて

まず、所定外労働時間については 2017 年度上期の生産状況において、粗鋼量は横ばい、鋼材生産量が減少となるなか、設備トラブルの対応や安全の全社横展開、標準化業務に対応してきた結果、所定外労働時間が対前期より増加となった。組合としては、こうした中においても、それぞれの生産状況を踏まえ、工場間応援の実施や代休取得の働き掛けを行い、所定外労働時間の削減に取組んでいるものと認識しているが、会社として今後新たに取組んでいく「働き方改革」を推進し、勤務管理マネジメントや「仕事の質向上」による所定外労働時間の削減に向けた取組みを展開していくことによって、各人の活力向上や生産性の向上につながる施策となるよう求めておく。

次に年休取得促進についてであるが、2017 年度上期の一人当たり年休取得実績は 7．0 日と前年同期実績に比べ 0．9 日の増加となっている。一方で上期中に年休の 5 日取得が未達であった者の比率が約 25%に上っていることから、年間 10 日以上の取得に向けて取得日数が少ない者へのフォローを含め、気軽に年休を取得しやすい職場風土づくりにも取組むよう求めておく。

2．2017 年度下期におけるワーク・ライフ・バランスの促進について

次に 2017 年度下期におけるワーク・ライフ・バランスの促進についてである。突発的な設備トラブルやそれに伴う修繕対応、品質・デリバリーに絡む需要家対応については所定外労働時間での対応はやむを得ないものと理解するものの、生産・操業体制の工夫を図り安定操業を行うことでトラブルの未然防止に努め、所定外労働時間発生に関する構造的・恒常的な課題の改善を行うとともに労働時間管理の徹底によって不要な所定外労働時間を削減し、仕事の質向上による「働き方改革」の取組みを着実に実行するよう求めておく。

また年休取得の促進についても、年休取得が年間 10 日以上の目標をすべての者が達成できるよう上期において年休取得日数が少ない者に対し、取得できない理由も含め、職制から日常業務のチェック等各人へのきめ細かなフォローを行ない、各職場実態に応じた年休を取得しやすい環境づくりに向けた取組みをお願いしておく。

以　上

◆和歌山労組第５１期　第１回政治活動委員会報告

各支部の集約金結果

支部	組合員数	最低目標金額	実績			
			カンパ額	達成率	協力者数	達成率
総務	96	38,400	39,500	103%	63	66%
工程技術	94	37,600	58,802	156%	93	99%
鋼管技術	140	56,000	80,600	144%	128	91%
コークス	96	38,400	61,300	160%	105	109%
製銑原料	63	25,200	54,656	217%	66	105%
製銑	134	53,600	57,980	108%	115	86%
製鋼	271	108,400	143,100	132%	249	92%
ステンレス	98	39,200	58,100	148%	95	97%
鋼片	101	40,400	57,800	143%	99	98%
薄板	81	32,400	47,800	148%	78	96%
中径製管	130	52,000	56,000	108%	137	105%
中径製品	297	118,800	111,000	93%	244	82%
小径製管	173	69,200	96,400	139%	171	99%
小径製品	232	92,800	118,800	128%	214	92%
冷間製管	171	68,400	90,000	132%	170	99%
設備管理	99	39,600	32,600	82%	53	54%
製銑保全	73	29,200	36,960	127%	63	86%
製鋼保全	53	21,200	29,500	139%	49	92%
圧延保全	108	43,200	57,700	134%	95	88%
海南保全	87	34,800	48,200	139%	85	98%
動力	86	34,400	51,600	150%	87	101%
大形	202	80,800	64,500	80%	59	29%
設備総務	100	40,000	52,500	131%	53	53%
書記局	13	5,200	28,000	538%	15	115%
合計	2,998	1,199,200	1,533,398	128%	2,586	86%

政策実現カンパ報告について

【政策実現カンパの使途】

新日鐵住金労連第４期政治活動委員会への寄付として使用する。

1,000 円×2,998 人(組合員数)×40%

=1,199,200 円

(最低目標金額)

残金については､新日鐵住金和歌山労働組合政治活動委員会の口座へ入金する。

1,533,398 円-1,199,200 円=334,198 円

(カンパ額)　(集約金)　(残金)

◆第 48 回衆議院議員総選挙の推薦候補者より御礼の挨拶を受ける

第 3 回中央委員会の前段、第 48 回衆議院議員総選挙における推薦候補者の岸本周平氏と坂田隆徳氏より御礼の挨拶がありました。

まず、岸本周平氏からは｢皆様には一丸となって応援していただき、ありがとうございました。恩返しは、国会の場でさせていただきますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いします｣と述べられ、また、坂田隆徳氏からは、｢全力で応援していただいた皆様には本当に感謝申し上げます。今回の選挙結果を踏まえ、今後につなげて参りますので引き続きご支援とご協力をお願いします」との挨拶がありました。



岸本　周平　氏



坂田　隆徳　氏

◆労働衛生講演会を開催

第３回中央委員会の前段、ＮＳメディカルから産業医の麦谷耕一氏を講師に招き､｢ポジティブなメンタルヘルス対策｣のテーマで講演会を開催しました。

講演では、｢個人と組織の活性化を視野に入れた対策を行うことで、メンタルヘルス対策につながり、結果的に個人の健康や会社の利益につながる」とメンタルヘルス対策の重要性を述べられらました。

労働組合としましても、組合員からの相談に対応できる体制づくり等を行い、メンタルヘルスに対する予防と対策を進めて参ります。



麦谷　講師

◆青年女性部が職場討議を開催

去る 10 月 12 日～10 月 24 日の間、計 5 回「第 51 期前半年度青年女性部活動方針」の職場討議を実施し、各地区で合計 363 人の青年女性部委員が参加しました。





◆女性意見交換会開催のお知らせ

普段関わる事のない他室・工場の女性委員と交流を深めていただき、今後の女性活動部の更なる盛り上げを図る為、女性意見交換会を開催致します。

開 催 日 時　2017 年 11 月 15 日（水）17：30～　組合会館中 1 会議室（和歌山・海南地区対象）
　　2017 年 11 月 20 日（月）17：30～　形鋼センター組合会議室（堺地区対象）
参加対象者　青年女性部女性委員
内　　容　第 51 期の女性活動部の行事についての意見交換会

女性委員の多数のご参加をお待ちしております！

◆青女学校のお知らせ

青年女性部委員として組合活動の基礎知識を学ぶと共に、委員間のコミュニケーションを図る事を目的に、第 51 期「青女学校」を開催致します。

開催日時　2017 年 11 月 25 日（土）9：00～17：00（受付 8：30～）
開催場所　和歌山人材育成センター
参 加 者　青年女性委員、対策部及び対策部長（計 69 名）

◆ろうきんからのお知らせ

皆さんがより利用しやすいように、窓口業務の時間帯を下記に変更致します。

	現　行	変更後
和歌山地区	１６時００分～１６時１５分頃	１１時４５分～１２時４５分
海 南 地 区	１１時００分～１１時１５分頃 （火・木）	１１時４５分～１２時４５分 （火・木）

実施時期　2017 年 12 月 1 日（金）から実施